

るのが青年である。小作争議、労働争議にあつて大衆行動の中堅とし先頭部隊として適とヨク闘ひ得るものは青年をおいて外にないのである。争議の勝敗は組合力が弱いか<sup>強いか</sup>でまるとき吾々は自己の生活ヨウゴのため青年部の組織は最も重要である。各支部班は組合員の青年子弟で青年子弟で青年部を組織し、青年部長を置き、自主的組織とし組合の指導統制下におく愚痴であるが執拗であるのは婦人である。打ツツク弾壓に抗して良く闘ひ争議中兵タン部として或は、共同耕作に共同田植に支配階級の壓迫をケツテ、闘ひ得るのは婦人部である數度の大争議に於て後東者の釋放要求に警察に押しかけ弾壓の後の組合を良く守り争議を勝利に導いたことも亦すくなくない。各支部では婦

人部の特性を發揮させるやうにすること

昭和十年度豫算決定之件 執行委員會提出  
 収入之部 二千七百七十五圓 組合費完納者八七〇

五百圓 準組合員納入費  
 壹百圓 臨時收入

支出之部

本部員交通費 六〇〇圓  
 訴訟費 三五〇圓 辯護士旅費印紙代  
 争議及組織費 三〇〇圓  
 家賃 二一六、〇〇 一箇月十八圓  
 常任食費 三八四、〇〇 月一人八圓四人十二ヶ月  
 縣聯大會費 一五〇、〇〇  
 紙文具プリント費 一〇〇、〇〇